

VI 計画の推進

1 計画の推進体制

国際化施策を推進していくためには、市民ニーズや社会的背景を踏まえたうえで、あらゆる分野で取組を展開することが重要であり、各種事業を計画的かつ継続的に推進していくことが重要です。

また、市の事業だけではなく、市民、地域団体、教育機関、民間事業者が連携し、本市における国際化施策を推進していくことが求められています。

《それぞれの役割》

■市民

市民は、主体的に外国人にも訪れやすく住みやすいまちづくりの担い手となります。

■地域団体

地域住民、市民団体・グループ等様々な機関・団体は、それぞれの活動の中で、外国籍市民も暮らしやすいまちづくりに取り組んでいくことが求められています。

■教育機関

小中学校では、地域と連携して、国際理解教育の推進を図ります。大学等は各種講座や研修会を開催する等、大学の有する資源を広く社会に還元するとともに、市民の国際感覚の向上や世界と触れ合う機会づくりが求められています。

■民間事業者

企業の社会的責任の一つとして、市民向け講座等の開催や留学生の職場体験の受け入れ等、市と情報共有や連携を図り、従業員や市民の国際理解を支援することが求められています。

■市

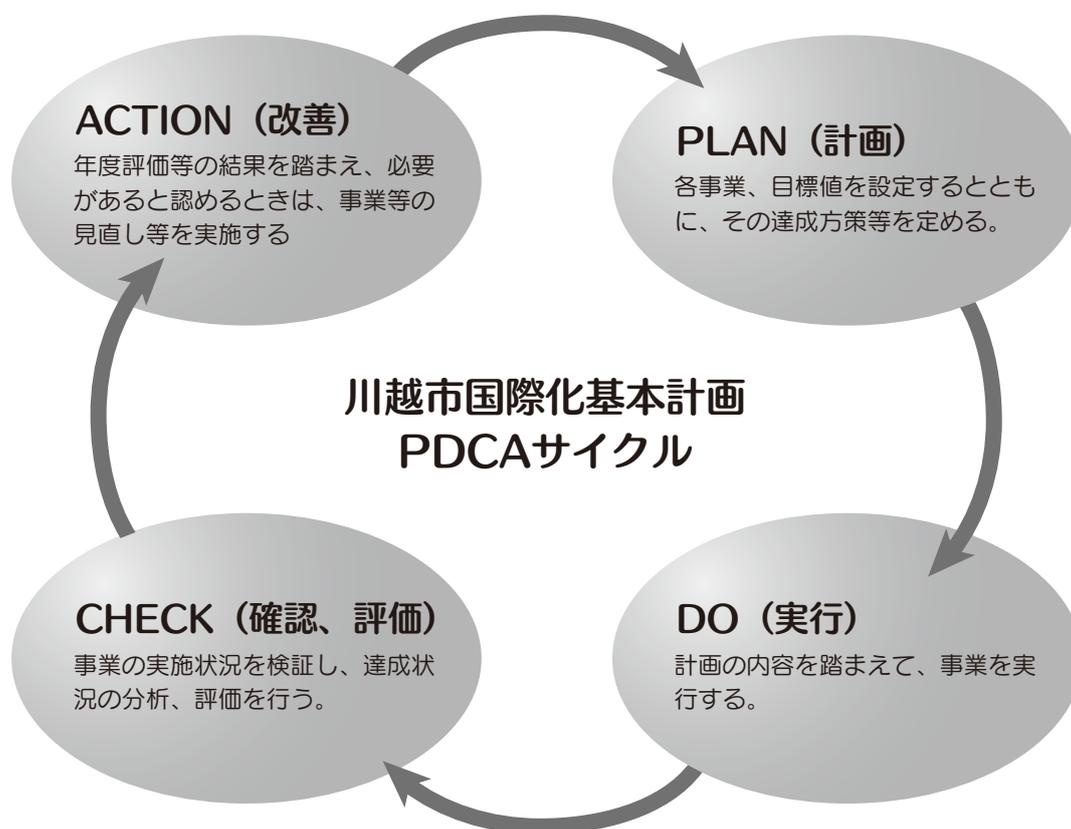
日本人市民と外国籍市民との相互理解のきっかけづくりや市民団体・グループの支援、国際交流センターの管理・運営、外国籍市民への情報の提供等、市民のニーズや社会の変化を考慮しながら、すべての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくりを行います。

2 計画の進行管理と評価方法

本計画を推進するために、「PDCA (Plan: 計画、Do: 実行、Check: 確認・評価、Action: 改善) サイクル」の構築により、計画の評価・改善を行います。

また、毎年、庁内関係課等で構成する会議を開催し、各施策の実施状況や目標値等について、その実績を把握し、国や県の動向も踏まえながら、計画の分析・評価を行い、必要に応じ、計画の変更や事業の見直し等を行います。

■PDCAサイクルのイメージ図



3 計画の指標

本計画の達成状況を4つの基本目標ごとに確認する指標として、以下の8つを設定します。

【計画の指標】

基本目標	指標	単位	実績値 (H26年度)	目標値 (H32年度)
1	日本語教室参加者数	人	3,373	3,900
	ボランティア活動者数	人	2,666	3,000
2	国際理解講座等の年間延べ受講者数	人	982	1,500
	外国人観光客数の割合	%	1.1	2.5
3	国際交流センター利用者数	人	16,855	18,000
	外国籍市民国際人材ネットの登録者数	人	39	45
4	姉妹・友好都市交流件数 (5年間の年間平均)	件	26.2	30
	外国籍市民と日本人市民との 年間交流者数	人	7,722	8,500

※日本語教室参加者数（人）

国際交流センターで実施する日本語教室への外国籍市民の年間参加者延べ人数。

※ボランティア活動者数（人）

国際交流センターで実施する日本語教室、外国籍市民を支援するボランティア事業及び通訳・翻訳ボランティア、外国籍市民国際人材ネットの年間ボランティア活動者延べ人数。

※国際理解講座等の年間延べ受講者数（人）

国際交流センターでの国際理解講座、日本語ボランティア養成講座等の人材育成講座の年間受講者延べ人数。

※外国人観光客数の割合（％）

川越市観光客数における外国人観光客の割合。

※国際交流センター利用者数（人）

国際交流センターの年間利用者延べ人数。

※外国籍市民国際人材ネットの登録者数（人）

年度末（3月31日）の登録者数。

※姉妹・友好都市交流件数（5年間の年間平均）（件）

姉妹・友好都市との交流件数の5年間平均件数。

実績値については平成22年度から平成26年度までの5年間の平均件数。

※外国籍市民と日本人市民との年間交流者数（人）

国際交流センターでの各種講座や姉妹都市との相互訪問などによる外国籍市民と日本人市民との年間交流者数。